

## 落葉病（カラマツ）

8月頃から輪生葉の先端または中央部に赤褐色の病斑ができ、徐々に拡大する。病斑は葉1枚に5～7個で、後にこの部分に微細な黒点状の菌体が数個から10数個生じる。

### 【被害】

罹病した針葉が9月中頃までに落葉してしまうため、成長量の減退を招く。霧が多発したり、5～7月に雨が多い場所で被害が目立つ。リン、カリ欠乏土壌も発生を助長する。



カラマツ落葉病